

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ハートランド豊田の杜				公表日	R8 年 1月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・のびのびと過ごせる十分なスペースを確保している。	・机に登ったり、机から飛び降りたりする方もいるので声掛け等注意が必要。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・必要な物はその都度用意をし、気が散らないよう簡素にしている。 ・身障用トイレは、広いスペースでベットでオムツ交換もできるところもある。	・活動に集中できるように部屋は、簡素にしているが、殺風景な印象もあるためもう少し装飾があつてもよいかも知れない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・利用後は、清掃や机、手すり、床等の消毒を行っている。	・ソファーのカバーは、洗う日にちを決める。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・個別の部屋を使う場合は、他部署と調整、確認し確保できるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・毎月、放課後等デイサービスの目標を設定して、達成度や反省の評価を出し、全体会議の場で発表している。	・職員の意見がしっかり聞けるように、記述形式にするなどの方法を考える。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・業務の改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・各職員サービス評価を実施し、話し合う機会を設け、課題を明らかにし改善策を検討している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		・外部評価は行っていない。自己、保護者評価により業務改善に努めていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・施設内外の研修、勉強会の機会があり、参加している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		・家族に配布（新規の方は契約時に）、施設掲示、ホームページ掲載をしている。	・今後、支援の内容により見直しや修正の必要性がある。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・面談で1年毎に再アセスメントをし、新しい情報を更新して計画に反映させている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・会議の場を持ち、現場職員と話し合って検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・支援前の打ち合わせで、毎回計画を読み上げ確認している。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・フォーマルなアセスメントは、実施できる専門職員がいないため、インフォーマルなアセスメントで確認している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・本人、家族のニーズや課題と職員から見た支援が必要な点を踏まえ「本人・家族・移行・地域支援」の観点で支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・職員間で活動のアイデアや意見を出し合って、年間で内容を決めている。 ・新しいアイデアなどあれば、予定を変更して取り入れた。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・大まかな活動は決まっているが、季節、預かり時間、障がい特性により、内容を変えて変化を持たせるようにしている。	・予定していた活動が出来なくなったりした時（早くやり終えた時、外の活動が雨天）の活動が大体決まっているので、もう少しバリエーションを増やす。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・本人、家族のニーズや課題に応じて計画を作成しており、個別、集団の活動を意識して設定している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・活動の内容や前回利用時の様子や注意事項、支援方法等を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・ケース記録、業務日誌に記録し、打ち合わせ時に業務日誌を読み返し、支援の振り返りや周知事項を確認している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に一度モニタリングを行い、各自の達成度に合わせて支援内容や目標の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○			・できてはいるが、「子どもが主体的に参画できる活動」は、年間行事を考える時点では、利用者さんにも意見を聞くなど、意識して取り組めるようにする。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・絵カードを利用したり、選択肢を狭めたりする他、仕草や目線などで意思をくみ取るようしている。 ・利用者さんによっては、活動の予定を自分で決めて予定を立てている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		・連携体制が整っているとは言えない。相談支援員に協力してもらしながら連携がとれるようにしていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校の年間行事計画を基に、家族や学校に確認して予定や送迎時刻を把握している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・相談支援員を通じて就学前に通園していた様子等の情報を得ている。	・今まで直接的なやり取りは行っていなかつたが、就学と同時に利用となる利用者さんは、就学前の事業所と積極的に連絡をとり、理解に努める。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		・併用利用の方がいないこともあります。積極的な機会はない。生活介護の交流イベントや秋祭りへの参加の他、公園で地域の子どもと関わることで交流する機会にしていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		・参加はしていない。必要に応じ、当施設の相談支援員を通じて情報共有していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎の引き渡しの際に、疑問や聞きたいことなどその都度聞くようにしている。面談の際に話し合えるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・ペアレントトレーニングは高度な専門性が必要であるためできない。外部の講演会、研修会等の案内という形で情報提供を行う。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			保護者はもちろん、会話のできる利用者さんにも面談は実施しているが、そうでない利用者さんには実施してこなかった。どの利用者さんにも話をする（説明をし、反応をうかがうなど）機会を設けていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・内容によっては相談支援員と情報共有して、支援体制が取れるようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・個々の保護者さん同士で情報交換しているようなので、特に行っていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情受付窓口やボックスの設置、また第三者委員会に申し立てができる体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・インスタグラムで、情報発信に努めている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・契約時に個人情報提供同意書を頂き、それに基づいて注意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・絵・写真カード、手話、ジェスチャーなどで意思疎通に努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・施設全体で秋祭りを開催している。広報や回覧板等を通じて、地域住民を招待している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルは定期的に見直しをしている。 ・防災、防犯、AEDの訓練を実施できた。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・放デイ利用者がいない時間帯ではあったが、電気、ガス、水道が止まったと想定し、非常食を職員が加熱、食形態ごとの調理をする非常食提供訓練を実施した。 ・訓練は年2回なので曜日を調整し、なるべく皆に体験できるようにしている。	・BCPの見直しは、誰がいつ行うのかを明確にしておく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・アセスメントの際に確認している。面談時に変更はないか、聞き取り更新している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・学校の医師の指示書のコピーを頂いたり、家族からの聞き取りによって対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画は、見直しをしている。 ・AEDの研修を受講した。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・面談や契約の時に説明している。 ・アセスメントの際に、緊急連絡先の確認をしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・再発防止策を検討し、どの職員も見れるよう事務所内に一定期間掲示している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・研修の他に、虐待防止委員会会議の実施、2ヶ月に1度のセルフチェックを行い、施設全体で虐待予防に取り組んでいる。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・安全のための車椅子ベルトであっても、家族に同意書を得ており、個別支援計画にも記載している。	